

第2次群馬県企業局経営基本計画 進捗状況

(令和4年度実績)

令和5年9月
群馬県企業局

I 電気事業



経営方針 (主な施策の方向性)
(1) 電力の安定供給
(2) 再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消
(3) 収益力の向上と効率的な運営

数値目標			
R12目標		R4実績	評価
・ 運転可能率	98.3% → 99.0%	99.1%	順調
・ 水力発電所リニューアル	4 箇所	施工中 1 発電所 工事発注 2 発電所	順調
・ 新規発電所の建設	5 箇所	川場薄根発電所 工事発注	順調

<これまでの取組>

(1) 電力の安定供給

- ・ 水力発電所リニューアル
 四万発電所 工事中
 白沢発電所 設計完了、工事発注
 関根発電所 事業見直し、修繕工事発注
- ・ ICT等を活用したDXの推進
 管理総合事務所集中監視制御システム更新工事を施工中
 タブレット端末を用いた巡視点検を一部運用開始

(2) 再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消

- ・ 新規発電所の建設
 川場薄根発電所の建設に着手
- ・ 電源群馬水カプランの活用推進
 6 社に供給中
- ・ 地産地消型 P P A (群馬モデル) の導入検討
 エネルギーの地産地消を推進する新たな取組を検討
- ・ 水素エネルギー利活用
 概念設計、サウンディング調査等を経て、事業の優先交渉者を選定

(3) 収益力の向上と効率的な運営

- ・ 売買契約における一般競争入札への移行
 高浜発電所は一般競争入札に移行済、他の発電所の移行準備
- ・ 発電所等を地域活性化の資源として活用
 ハツ場発電所のプロジェクションマッピングの一般見学を開始



〔ハツ場発電所プロジェクションマッピング〕



〔霧積発電所建設予定地〕



〔川場薄根発電所建設予定地〕

II 工業用水道事業



経営方針 (主な施策の方向性)	数値目標		
	R12目標	R4実績	評価
(1) 強靱な工業用水道の構築	・ 年間契約水量 72,327千 m^3 → 75,092千m^3	72,034千 m^3 (-293千 m^3) 0%※	遅延
(2) 収益力の向上と効率的な運営	・ 渋川工水の更新・改良 0% → 100% (浄水処理能力の耐震化率)	(配水池実施設計完了)	順調
(3) 良質な工業用水の供給	・ 管路耐震化率 39.6% → 100%	42.7% (吾妻川横断工調査完了)	順調

<これまでの取組>

(1) 強靱な工業用水道の構築

- ・ 渋川工業用水道の更新・改良（耐震化）
1～3号沈澱池耐震補強工事完成
- ・ 東毛工業用水道の配水管路の耐震化
東橋水管橋・石田川橋水管橋耐震補強工事完成
東毛工業用水道（東ルート、西ルート）耐震化完了
- ・ 職員の技術力向上に向けて、保安研修を実施
- ・ 配水管路漏水事故を受け、管路付帯設備の修繕、補強を順次、実施

(2) 収益力の向上と効率的な運営

- ・ 給水価格の適正化
渋川工業用水道において、変動的経費の増加や今後の設備更新に対応するため、使用料金を1円/ m^3 から2円/ m^3 へ改定（基本料金は12円/ m^3 で据え置き）

(3) 良質な工業用水の供給

- ・ 新取水施設の方針検討
東毛工業用水道において、利根川の流心が変動したことにより将来的に取水不能になる可能性があるため、新たな取水施設の検討を進める

※ 浄水処理能力の耐震化は、取水口、配水池等の浄水処理工程の全てが耐震化されることで100%を達成するものであり、R4年度時点では未了部分が残っているため0%となる。



〔渋川工業用水道沈澱池補強〕



〔東毛工業用水道水管橋耐震化〕



〔東毛工業用水道全景〕

Ⅲ 水道事業



経営方針 (主な施策の方向性)	数値目標		
	R12目標	R4実績	評価
(1)安全で質の高い水道水の供給	<ul style="list-style-type: none"> 年間協定水量 65,536千m³ → 69,256千m³ 県央第一水道の更新・改良 (浄水処理能力の耐震化率) 29.0% → 100% 	65,536千m ³ (R2~4協定水量)	順調
(2)強靱な水道の構築			78.9% (2系2列完成)
(3)収益力の向上と効率的な運営			

<これまでの取組>

(1) 安全で質の高い水道水の供給

- 水質管理体制の充実・強化
浄水場における緊急時の迅速・柔軟な対応と、通常時の効率的な対応の充実・強化を図るため、R4年度に水質検査センターを県央第二水道に移転

(2) 強靱な水道の構築

- 県央第一水道の更新・改良（耐震化）
3系浄水処理施設（耐震性有）完成
2系浄水処理施設更新改良工事完成
2系浄水処理施設耐震補強工事完成

(3) 収益力の向上と効率的な運営

- 年間協定水量の増量
県央第二水道において、受水市町とR5~7年度の年間使用水量を増量した協定を締結



〔技術研修（油吸着資材設置）〕



〔水質検査〕



〔県央第一水道浄水場〕

IV 団地造成事業



経営方針 (主な施策の方向性)
(1) 企業誘致の受け皿となる産業団地の造成
(2) 企業局の強みを結集した産業団地の早期分譲
(3) 街の賑わいづくりにつながる住宅団地の分譲促進

数値目標		
R12目標	R4実績	評価
・ 産業団地造成面積 250ha	0ha (累積22ha)	遅延
・ 新エネルギー活用住宅モデル事業の実施 30区画以上の分譲開始	街区デザインの作成	概ね順調

<これまでの取組>

(1) 企業誘致の受け皿となる産業団地の造成

- ・ 造成中 3 団地 (56.3ha) R5年度完成予定
- ・ 造成中 1 団地 (19.3ha) R6年度完成予定

(2) 企業局の強みを結集した産業団地の早期分譲

- ・ 分譲済 1 団地 1 件 (5.6ha)
- ・ 本県の魅力とともに企業局のCO₂フリー電力、良質で安定した工業用水をPRし、高付加価値型企業をターゲットに企業訪問を実施
高崎玉村SIC北地区工業団地の分譲候補者選定を実施

(3) 街の賑わいづくりにつながる住宅団地の分譲促進

- ・ 分譲済 19 件 (住宅用地 18 件、商業用地 1 件)
民間ノウハウを活用したPRや分譲を推進
- ・ 新エネルギー活用住宅モデル事業
R6年度中の分譲開始を目標に街区デザインを作成



〔千代田第三工業団地〕



〔館林北部第四工業団地〕



〔高崎玉村スマートSIC北地区工業団地〕



〔板倉ニュータウングリーンブロックデザイン〕

V 施設管理事業



経営方針 (主な施策の方向性)	数値目標		
	R12目標	R4実績	評価
(1)収益力の向上と効率的な運営	・ 賃貸ビル入居面積 3,686㎡ → 4,232㎡	4,180㎡	順調
(2)広く県民に親しまれるゴルフ場づくり	・ ゴルフ場利用者数 1ゴルフ場当たり 45,000人/年	53,075人/年	順調

〈これまでの取組〉

(1) 収益力の向上と効率的な運営

①格納庫事業

- ・ 入居者：4者 面積：2,541㎡ 入居率：73.5%
- ・ 長期保全計画を作成

②賃貸ビル事業

- ・ 入居者：34団体 面積：4,180㎡ 入居率：98.8%
- ・ 長期保全計画を作成（令和3年度）



〔群馬ヘリポート格納庫〕



〔公社総合ビル〕

(2) 広く県民に親しまれるゴルフ場づくり

①第4期指定管理者（指定期間：R4.4.1～R7.3.31の3年間）を選定

玉村：（株）三商 前橋：久松商事（株）
板倉：東急リゾート&ステイ（株） 新玉村：金井興業（株）

②県営ゴルフ場事業あり方検討委員会報告の趣旨を踏まえ、必要な検討を加えながら、運営方針（案）を策定

[運営方針（案）の概要]

- ・ 運営の方向性：指定管理者の創意工夫を促し、広く県民が気軽にゴルフを楽しめる場を提供
- ・ 民間ゴルフ場との棲み分け：ゴルフ人口の裾野拡大や県民の健康増進に寄与する事業等を推進
- ・ クラブハウスの方向性：高額にならない簡素なもの。諸室の規模・機能の見直しと機能向上



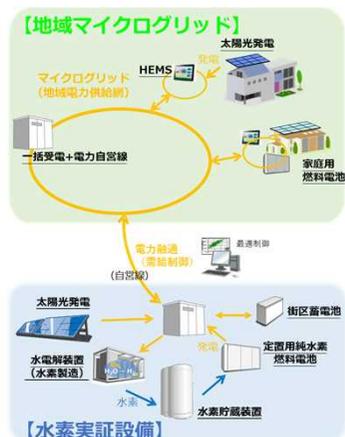
〔新玉村ゴルフ場〕

全事業共通の取組



(1) 経営健全化の取組

- ・ 組織体制の整備と適正な定員管理
発電事務所の体制整備
(リニューアル工事への確に対応)
- ・ 人材育成・女性職員、障害者の活躍推進
- ・ 未利用資産の処分等資産の有効活用
- ・ 民間ノウハウ・活力の活用
指定管理者制度、住宅団地分譲PR、水素エネルギー実証事業等のサウンディング調査など



〔水素エネルギー実証 (イメージ)〕

(2) 地域貢献

- ・ 「ぐんま未来創生基金」への繰出
- ・ 地域振興積立金による文化・スポーツ事業への支援
- ・ 事業用施設を活用した学習機会の提供等
- ・ 市町村等に対する小水力発電事業の技術支援、相談等の実施など



〔群馬交響楽団〕



〔ぐんまマラソン〕



〔施設見学会 (写真は令和元年度)〕



〔市町村の小水力発電所視察〕

(3) 経営課題と新規事業の展開に向けた取組

- ・ DXの推進
空中ドローン・水中ドローンの導入など施設の保守管理業務におけるDXを推進
web会議システムによる局内外との会議、局内会議のペーパーレス化を推進
- ・ 調査研究事業の推進
若手職員を中心に経営を取り巻く課題等について調査研究を実施
発表会を開催し企業管理者等と議論 (R2:2テーマ、R3:3テーマ、R4:3テーマ)
- ・ PRの実施
tsulunosの活用によるPR動画作成・配信、ダムカードの配布、ハッ場発電所プロジェクションマッピングの一般見学を開始 など



〔浄水場PR動画〕



〔水中ドローンによる点検 (試行)〕